



と き 2026年5月28日(木) 14:00~15:20
見学先 エンジョイりんRIN、尚徳地域包括支援センター 米子市永江 562
みんなの居場所あいRIN 米子市永江 201-15
デイハウスながえ 米子市永江 280-2

出席者 【委員】鶴亀 寿子、岸本 保子

【なんぶ 幸朋苑】 中村 泰丈 (なんぶエリア 総合施設長)
大濱 伸也 (尚徳地域包括支援センター管理者)
瀬尾 朱美 (エンジョイりんRIN管理者)
松下 奈津子 (デイハウスながえ 主任)

【法人本部】 荒井 祐二 (監事)

NANBU Area Report





■なんぶエリアの現況

荒井監事：本日は、こうほうえんが米子市永江地区で取り組んでいる事業を見学していただきます。鳥取県内では最大規模の住宅団地で、住民の皆さんと共に考え、歩んできた歴史があります。移動に時間を要しますので、見学しながら皆さんの感想を聞くこととなります。はじめに、中村総合施設長からなんぶエリアの近況を報告してください。

中村総合：なんぶ幸朋苑は今年、開苑 30 周年を迎えます。9月19日（土）に記念事業を開催予定で、いろいろな知恵を出し合いながら内容を検討しています。式典を実施するとともに、できれば、ユマニチュード開発者のイブ・ジネスト氏をお迎えしたいと考えています。本日は、永江地区の施設を見学していただきます。忌憚のないご意見をお願いします。

■施設の現況・課題・施設見学

大濱管理者：2023年4月に開設しましたコミュニティセンターりんRINの1階には、「尚徳地域包括支援センター」と「エンジョイりんRIN」が配置されています。「尚徳地域包括支援センター」は、地域で暮らす住民の皆さん、主に65歳以上の方の生活をサポートする機関です。先日、民生児童委員の総会に出席し、包括の認知度を高めるため、パンフレットを配布してPRをしてきました。気軽に相談できる場所になるよう努めてまいります。

瀬尾管理者：「エンジョイりんRIN」は、65歳以上の要支援者やフレイル度チェックで該当した人を対象に、月曜日から金曜日の午前、午後10名ずつの2部制で実施しています。脳トレ体操やマシンによるリハビリ、歯科衛生士による口腔、栄養指導などを実施。水曜日の午前は、フレイル予防の実践教室も実施しています。日々の暮らしが楽しくなるよう工夫しています。本日は、間違い探しのゲームや体操の風景を見学していただきます。



鶴亀委員：コミュニティセンターりんRINの2階は、健康促進のためのウォーキングマシンや交流室などが配置され、今日はカラオケでの歌声が聞こえ、とても賑やかです。

大濱管理者：地域のお年寄りの皆さんが集まって、カラオケを楽しんでいます。

鶴亀委員：気軽に立ち寄れる雰囲気があり、利用しやすくなっていますね。

岸本委員：エンジョイりんRINに参加されている皆さんは、お元気な方が多く、明るい表情でいきいきしていました。職員が工夫されていることが伝わってきました。



中村総合：「みんなの居場所あいRIN」は、2024年10月に開設しましたが、子どもからお年寄りまで多くの人に利用されています。①子どもの居場所あいRIN・・幼児から小学生。気軽に立ち寄り、勉強や遊んだりする。②あいRIN広場・・幼児から修学前児。絵本読み聞かせ、玩具遊びなど楽しく親子交流。③だがし屋あいちゃん ④みんなの食堂（あいRIN食堂）⑤学習支援・・多様な状況にある子どもたちの学習の場を提供。⑥相談・・子どもや保護者、地域の方の相談を受ける。⑦地域の拠点 地域の人々が集い、交流のできる拠点。など、地域のボランティアの皆さんと一緒に運営しています。現在、学習支援に6名の子どもが参加していますが、講師が不足しており募集中です。

鶴亀委員：あいRIN食堂は、人気があると聞きます。どうですか。

中村総合：毎日、お昼には地域の皆さんが集まって、カレーや焼きそばなどを召し上がっています。この後、学校帰りの子どもたちが立ち寄ります。

岸本委員：世代を超えて交流できる場所があるのは、素晴らしいことだと思います。運営は大変でしょうが、よろしくお願いします。

松下管理者：「デイハウスながえ」は、2021年4月に県営住宅2戸を活用して開設しました。デイハウスごせんごくのサテライト事業所と位置付けています。登録定員16名、平均年齢84.9歳、平均介護度1.6、要支援1～要介護3までの16名が利用されています。県営住宅入居者6名が利用され、その内1組が夫婦です。小規模多機能型施設ですが、泊まりは、デイハウスごせんごくを利用していただきます。希望があれば外出もしています。四季折々の催しを実施したり、公民館まつりに参加。10月には県営住宅と合同で避難訓練もしています。6月10日（水）13：30からデイハウスご利用者や県営住宅入居者、永江地区の皆さん、約30人と「ちまき作り」を予定しています。

鶴亀委員：県営住宅でお住いの皆さんにとっては、心の拠り所になっているでしょうね。心配事を相談するにはこうした場所が必要だと思います。私は、近くに住んでいますので、ちまき作りに参加させてください。

岸本委員：県営住宅2戸を上手く活用されていると思います。ベッドで休憩する場所もあり、その日の状態に合わせて利用できるのいいと思います。マンモス団地で、場所が分からないのではないかと心配です。

松下管理者：永江団地は、大規模で迷ってしまうようです。分かりやすい表示看板を考えてみたいと思います。

中村総合：次回は、6月25日（木）14：00～ なんぶ老健を予定しています。

